

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	美術	
科目基礎情報							
科目番号	1013			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報通信システム工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜用いる						
担当教員	岸本 達巳						
到達目標							
課題制作を通して、独自の発想力や展開力、造形力の基礎的な力を身に付ける。 【VIII-A】相手の意見を聞き、自分の意見を伝える事で、円滑なコミュニケーションを図る事が出来る。 【VIII-D】現状と目標を把握し、その解離の中に課題を見つけ、課題の因果関係や優先度を理解し、そこから主要な原因を見つけ出そうと努力し、解決行動の提案をする 【IX-A】身内の中で、周囲の状況を改善すべく自分の能力を発揮できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		最低限必要な到達レベル (可)	
デッサン：素描の様々なとらえ方を体験する事でものの観かたの多様性を習得し作品化する。	課題を理解した上で、さらに独創や性魅力のある造形表現が出来る。			課題を理解した的確な造形表現が出来る。		課題に対し積極的に取り組む。	
素材工作（針金＋紙＋着彩）：線を使った立体物の構築とそれに面と色彩を足すことでの展開による表現	課題を理解した上で、さらに独創や性魅力のある造形表現が出来る。			課題を理解した的確な造形表現が出来る。		課題に対し積極的に取り組む。	
素材工作（ボール紙＋着彩）：自分の生活と空間デザインを結び付けて表現することで実践的なイメージ感覚を養う。	課題を理解した上で、さらに独創や性魅力のある造形表現が出来る。			課題を理解した的確な造形表現が出来る。		課題に対し積極的に取り組む。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	様々な画材と表現方法を体験しながら物事のとらえ方の多様性を感じることで自由で柔軟な表現方法や発想力、創造力をつける。課題に対し積極的な参加を望む。						
授業の進め方・方法	授業終了時の制作した場所の掃除と道具の片づけは、必須（授業終了10分前に作業は終了すること）。パソコン、スマートフォン等は、基本的に使用しない。						
注意点	授業内で目的外での使用（ゲーム等）を見つけた場合は、減点の対象とする。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス及びドローイ			授業の進め方の説明。課題：身近なものを描く	
		2週	デッサン・ドローイング			物の観かた・とらえ方の多様性をいろいろな技法を通して体験学習する。	
		3週	デッサン・ドローイング			物の観かた・とらえ方の多様性をいろいろな技法を通して体験学習する。	
		4週	デッサン・ドローイング			物の観かた・とらえ方の多様性をいろいろな技法を通して体験学習する。	
		5週	デッサン・ドローイング			物の観かた・とらえ方の多様性をいろいろな技法を通して体験学習する。	
		6週	デッサン・ドローイング			物の観かた・とらえ方の多様性をいろいろな技法を通して体験学習する。	
		7週	小立体制作（針金＋紙・着彩）			線による立体構造表現。	
		8週	小立体制作（針金＋紙・着彩）			線に面を追加することでの可能性の展開	
	4thQ	9週	小立体制作（針金＋紙・着彩）			線に面を追加することでの可能性の展開	
		10週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			アイデアスケッチ・イメージ図制作	
		11週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			ボール紙による模型の制作	
		12週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			ボール紙による模型の制作	
		13週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			ボール紙による模型の制作	
		14週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			ボール紙による模型の制作	
		15週	小立体制作(ボール紙＋着彩)			ボール紙による模型の制作	
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的理解	0	0	0	0	0	35	35
応用力	0	0	0	0	0	20	20
社会性	0	0	0	0	0	10	10

主体的・継続的 学修意欲	0	0	0	0	0	35	35
-----------------	---	---	---	---	---	----	----